

「河川・水防災技術分野」（平成30年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
低周波の弾性波を用いたコンクリートダムの亀裂検知および強度分布把握手法の研究開発	東京都立大学 小田 義也	A
<p data-bbox="201 528 389 562"><研究概要></p> <p data-bbox="201 595 1394 770">地盤調査で活用されている低周波の弾性波を利用して、コンクリートダム堤体のひび割れや強度を広域的かつ非破壊で検知可能な技術の開発を行った。供用中のダムにおいて人工および自然振動を測定し、弾性波の伝播速度や減衰量から、強度分布やひび割れ深さの推定を行った。さらに、堤体調査用の小型震源の適用試験、光ファイバーによる振動測定の適用性を検討した。</p>		
<p data-bbox="201 1084 517 1117"><事後評価指摘事項></p> <p data-bbox="201 1151 584 1184">A評価のためコメントなし</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとはいえない。